



JTUC-TOKUSHIMA
連合徳島

発行：日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 島 和 久



vol. 324

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

当面の日程

- 7月13日(水)「クラシノソコア応援団！RENGOキャンペーン」(J R徳島駅前)
- 8月6日(土)～7日(日)
「連合の森」親子サマーキャンプ
(まぜのおかオートキャンプ場)

連合徳島は2022年6月28日「2022年度連合徳島地方委員会」を徳島グランドヴィリオホテルにおいて、執行部・地方委員あわせて80人が参加のもと開催した。

岡会長代行の開会あいさつの後、議長に国公総連国見地方委員を選出し議事に入った。

地方委員会開催にあたり大谷会長は、新聞掲載の記事「あるロシア女性の手記」「同和教育弱体化の懸念」を用い、いつ日本が戦争を起

「正しい」情報を選択し「正しい」知識を学ぶことが大切。そして、働く者・労働者の視点に立つて行動しなければならぬとあいさつした。

来賓あいさつでは、徳島県商工労働観光部村上副部長、内藤徳島市長、四国労働金庫森本副理事長、立憲民主党徳島県総支部連合会黒崎代表、連合徳島議員ネットワークの皆様より激励と連帯のあいさつをいただいた。



大谷会長団結ガンバロー

この立場になるのか、ウクライナのように侵略される側になるのか。また、いつ差別される側になるのか差別する側になるのか。マスコミ報道やネットなどの情報を鵜呑みにせず、

その後執行部より、①一般経過報告②2022年度上半期一般会計報告③会計監査報告④第1号議案・2022年度春季生活闘争の中間まとめ(案)⑤第2号議案・2022年度後期主要課題の取り組み方針(案)を報告提案の後、①「新型コロナウイルス感染症拡大による小学校休校等の影響調査」に基づき、労働環境改善について自治体や経営団体に対する要請強化②ジェンダーフリー化に対する誹謗中傷③自治労全国一般徳島におけるハラスメント事件を受けて連合徳島における対策強化要請④公共サービスキャンペーンによる県庁前ビジョンの取り組みなどについて一定の見解を示した。



各構成組織から80人が参加

続いて、第3号議案・第26回参議院議員選挙必勝決議(案)、第4号議案・連合

連合徳島地方委員会

「働くことを軸とする安心社会」の構築に向け

後期主要課題の方針を承認

連合徳島は2022年6月28日、徳島市のグランヴィリオホテルで2022年度連合徳島地方委員会を開き、執行部・地方委員など30構成組織80人(内女性14人)が参加。2022年度春季生活闘争の中間まとめを行うとともに、後期主要課題の取り組み方針などを決定した。

その後執行部より、①一般経過報告②2022年度上半期一般会計報告③会計監査報告④第1号議案・2022年度春季生活闘争の中間まとめ(案)⑤第2号議案・2022年度後期主要課題の取り組み方針(案)を報告提案の後、①「新型コロナウイルス感染症拡大による小学校休校等の影響調査」に基づき、労働環境改善について自治体や経営団体に対する要請強化②ジェンダーフリー化に対する誹謗中傷③自治労全国一般徳島におけるハラスメント事件を受けて連合徳島における対策強化要請④公共サービスキャンペーンによる県庁前ビジョンの取り組みなどについて一定の見解を示した。

徳島役員補充について(案)、第5号議案・表彰について(案)を提案し、すべて満場一致で承認された。

最後に、賀川副会長の閉会あいさつの後、大谷会長のガンバロー三唱で2022年度連合徳島地方委員会を閉会した。

第93回メーデー 4地区で開催

メーデー
スローガン

「一人ひとりが尊重される 多様性を認め合う
社会をめざし みんなが輝く未来をつくろう！」



大谷メーデー実行委員長があいさつ



徳島中央メーデーには各構成組織等から480人が参加

続いて、来賓として「飯泉

その後、①2022中小春季生活闘争未解決組合を支援する特別決議(案)「良質な公共サービスの確立を求める特別決議(案)」「ロシアのウクライナ軍事侵攻の即時作戦中止・撤退を求める特別決議(案)」第93回メーデー宣言(案)が提案され、全体の拍手で採択・承認された。



美馬地区メーデー



岩佐南部地協議長があいさつ



阿南・那賀・海部地区メーデー



三好地区メーデー

480人の参加により、3年ぶりに新町川公園(御成婚広場)にて集会形式で開催することができた。

岡副実行委員長の開会あいさつに続いて、議長に原内連合徳島副会長、三木連合徳島女性委員会事務局長を選出した後、主催者を代表し、大谷実行委員長より「ロシアによるウクライナ軍事侵攻は最大の人権侵害であり、無条件での即時撤退が当然である。今回の報道の中で、メーデーやジャーナリストによる、人種に絡めた先入観や偏見による問題表現が明らかになっていく。人々の認識を形成する上で、直接的な影響力を持つため、不公正に押し付けられている。対し避難していかねばならない」と呼び掛けた。

中川副会長の閉会あいさつの後、大谷実行委員長による団結ガンバロー三唱により、第93回徳島中央メーデーを終了した。



徳島県中小労働対策本部 第2期労働関係セミナー

徳島県中小労働対策本部は昨年に続き、2022年5月21日から、徳島市内ふれあい健康館にて、第2期労働関係セミナー（計4回）を開講した。

内容として、2022年法改正の情報および中小労組の取り組みや中小労働運動の歴史、福祉運動などをテーマに、組合員の知識向上をめざし、課題の解決に向け理論武装に取り組む一環として開催した。

第1講座：2022年法改正の情報および中小労組の取り組み

第2講座：働き方改革関連法&改正育児・介護休業法、ハラスメント防止対策等について

第3講座：徳島県中小労働対策本部結成の経過&中小労働運動への期待

第4講座：可処分所得の向上について

i+1 わたしプラスもう1票 第26回参議院選挙

投票行こうよ!

みんなの未来
〜動画も見てネ!〜

よくわかる・すぐわかる
参議院選挙の投票方法

毎日が投票日

日	月	火	水	木	金	土
20	21	22 公示	23	24	25	
26	27	28	29	30	31	2
3	4	5	6	7	8	9

10 ← 投票開票日 7月10日

期日前投票が可能な期間

徳島県中小労働対策本部は、2022年4月16日、新型コロナウイルス感染症予防対策として、連合徳島会議室とWEBによるハイブリッドにて「第2期労働関係セミナー」第1講座を開催し、各構成組織等から27人が受講した。



第1講座

井内中小労働対策議長が開講あいさつ

ナーを開講することができたことは嬉しく思う。講座で学んだことを組織に持ち帰り労働運動に役立ててもらいたい」と挨拶。

第1講座は、連合本部ジェンダー平等・多様性推進局長と佳子局長を講師に「2022年法改正の情報および中小労組の取り組み」について講演を受け、2022年4月1日から変更となった「改正育児・介護休業法の3段階での施行」「ハラスメント関連法がすべての企業に義務拡大」「女性活躍推進法の101人以上の企業に義務拡大」「次世代育成支援対策推進法の新たな認定基準」での概要と施行スケジュール、雇用環境の整備の事業主への義務づけ、労働組合としての取り組みについても説明した。まとめと閉会挨拶を座長の清田副議長が述べ第1講座を閉会した。



連合徳島会議室にて参加

第2講座

徳島県中小労働対策本部は、2022年5月21日、「第2期労働関係セミナー」第2講座を開催し、各構成組織等から30人が受講した。



各構成組織から30人が参加

第2講座は、国重監督官を講師に「働き方改革関連法&改正育児・介護休業法、ハラスメント防止対策等について」講演を受けた。労働組合は労働者に寄り添い、職場環境が悪くならないよう、労使で予防措置を今後作っていく。パワーハラスメント防止措置には禁止規定がないので、これからがスタートである。法改正に伴って、中小企



国重徳島労働基準監督官が法改正内容や防止対策等を解説

業は実務まで制度の整備が行き届いている企業ばかりではなく、また、ハラスメントになるなら、ケースバイケースで異なるため、企業としては対応策に苦慮しているところがある。根本はパワーハラを起こさせない環境づくりと教育が重要であり、労働組合は自ら知識を学び、労使協定に法改正の内容を締結することに取り組んでいく必要がある。徳島県中小労働対策本部は今セミナーを通じて、相談窓口を設置する。併せて、各単組では組織全体を通して相談しやすい雰囲気づくりに努めることも必要不可欠と言える。

第3・4講座

徳島県中小労働対策本部は、2022年6月18日、ふれあい健康館で第2期労働関係セミナー第3講座・第4講座を同日開催し、各構成組織等から35人が参加した。

松本幹事（私鉄総連徳島バス労組）が司会を務め、第3講座「徳島県中小労働対策本部の経過&中小労働運動への期待」をテーマに公財）徳島県労働者福祉ネットワーク久積育郎理事長（元連合徳島副事務局長）より講演を受け、100年



井内中小労働対策議長が開講あいさつ

からの世界情勢と労働運動の歴史を振り返るとともに、「顔合わせ、心合わせ、力合わせ」でスタートした連合の経緯や、連合徳島の発足を説明した後、「徳島県中小労働対策本部の特徴とし



久積理事長が中小運動の特徴等を講演

第4講座「可処分所得の向上」では、こくみん共済coop 徳島推進本部久保敦課長より、可処分所得を増やすための家計の見直しについて、「日本の平均給与と社会保険料の推移では給与は増えず、社会保険料が増加している。高齢夫婦世帯の家計収支（年金生活前提）において毎月の収支が約45,000円マ



各構成組織から35人が参加



久保課長が可処分所得を増やす内容を説明

5月街宣

ウクライナの支援・
救済カンパ活動を実施ウクライナ支援を訴える
連合徳島大谷会長

2022年5月10日、JR徳島駅前にて「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキャンペーン」徳島駅前街宣行動を開催し、連合徳島構成組織等から35人が参加し、「ウクライナの支援・

6月街宣

「女性のための連合全国一斉集中
労働相談ホットライン」を周知

ウクライナの支援・救済カンパ活動を実施

連合徳島は6月7日、JR徳島駅前において、「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキャンペーン」として街宣行動を行った。

当日は、連合徳島構成組織から37人が参加し、ウクライナの平和を求めるアピールボードを持ってウクライナ救援カンパ行動を行った。(カンパ金2,218円)

冒頭、連合徳島大谷会長より、「ロシアによるウクライナ軍事侵攻で多くの罪の



救済カンパ「全国一斉集中労働相談ホットライン」について、呼び掛けるとともにアピールボード、横断幕を掲示して周知活動を行った。

冒頭、連合徳島大谷会長から、「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻で多くの死傷者や国内外への避難を強いられた人々は1,000万人にも達している。連合は、難民・被災者となったウクライナの人々のために救援カンパを受付し、募金への協力をお願いす

ない国民が犠牲になっている。極めて深刻な状況であり、多くの支援を必要としている。連合はウクライナの難民・被災者を支援する救援カンパに取り組んでいる。ウクライナの人々の生活を取り戻す一助とするためのカンパ活動に協力を」と呼び掛けた。



女性委員会藤田委員長

ついで、連合徳島女性委員会藤田委員長より、「徳島県内で働く私たちは男女問わず、地域経済・社会の担い手であり、公正・公平な

権利が保障され安心して暮らせる社会でなければならぬ。しかし、不払い残業や不当解雇、様々なハラスメントなどの労働問題が起きている。連合では6月7日、8日に『女性のための全国一斉集中労働相談ホットライン』を開設し受け付けている。一人で悩まず相談をしてみてほしい」と訴えた。その後、こくみん共済



JR徳島駅前ウクライナ支援・救援カンパを呼び掛ける参加者



る。ロシアのウクライナからの撤退が1日でも早く実現するよう自分たちのできることを取り組んでいこう」と訴え、6月の男女平等月間に開催する全国一斉集中労働相談ホットラインについても周知した。

国連UNHCR協会と日本ユニセフ協会に寄付される。

「誰もが時給1,000円」を

―四国ブロック最低賃金委員学習会―

2022年度連合四国ブロック最賃委員学習会を、2022年5月13日に徳島グランヴィリオホテルでWEBとのハイブリッドで開催し、29人が参加した。

開会にあたり連合徳島岡会長代行より「昨年は前年に引き続きコロナ禍での地域別最低賃金の審議で各県委員は大変苦勞されたと思う。最賃制度はセーフティネットでもあり、人材確

保や地域創生にとって必要である。委員の皆さんに『誰もが時給1,000円』に向けて頑張っていただいた」と挨拶。

続いて、連合本部仁平総合政策推進局長より、「コロナ禍の影響は低賃金層などの弱い立場にある者ほど大きかった。中央最低賃金審議会の示した目安額(全ラ

重平均は930円となり、全都道府県800円以上となったことは連合が掲げる『誰もが時給1,000円』に向けて一つ目標がクリアできた。今後、使用者側委員との話し合いを定期的に行い双方の考えを纏めていきたい。また、政府主導ではなく、労使が納得の上で説明がつく目安額を決めたい」と提起した。

その後、四国ブロック各



各県から29人が参加

連合徳島に新しい仲間が誕生

―TOYO労働組合を結成―

連 合 徳 島
地域ユニオン

2022年4月27日、連合徳島会議室にて連合徳島地域ユニオンTOYO労働組合の結成大会を開催し、

東洋病院で働く仲間と連合徳島から8人が参加した。冒頭、連合徳島大谷会長から労働基準法1条ならびに労働組合法1条について触れたあと、「法律に書かれているから使用者つまり会社側が守るとは限らない。しっかりと要求し使用者側と交渉していくことで働きやすい職場を作っていくことが労働組合の目的である。今後のTOYO労働組合の発展に向け、連合徳島とともに取り組んでいこう」と挨拶。



大谷連合徳島会長が高島執行委員長(左)に組合旗を贈呈



高島執行委員長の発声でガンパロー

万人、すべての働く人たちのために、雇用と暮らしを守る取り組みを進めている。労働条件・職場環境の維持改善といった職場レベルでの課題から、労働法制、社会保障制度、経済政策など、様々な社会的問題も解決している。働く人や生活者に寄りそう労働組合である。これからも自組織での問題解決や県内で働く仲間と『働くことを軸とする安心

社会』の実現に向けともに取り組んでいこう」と挨拶。議事では、①第1号議案活動方針(案)②第2号議案組合規約(案)ならびに組合費(案)③第3号議案役員(案)が提案され全員の拍手で承認された。

連合徳島大谷会長からTOYO労働組合高島執行委員長へ組合旗が贈呈され、高島執行委員長の団結ガンパローで結成大会を終えた。